

緑をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ。

つなぐ

TSUNAGU NUMBER

19

西日本事務所10年目の取り組みへ

小さな一歩から新たな一歩へ

TOPICS /

1

西日本事務所は、西日本地区の事業拠点として平成21年4月に設立し、同年9月、鳥取県で「鳥取二十世紀梨収穫隊モニター」を実施したほか、「第21回民俗芸能と農村生活を考える会」、島根県益田市の「石見神楽」の公演を開催し、民俗芸能の掘り起こしをおこないました。さらに、兵庫県淡路市で「カーネーション摘み隊」を開催するなど、事務所開設後の1年で、事業推進の礎を築きました。

鳥根県益田市で「石見神楽を訪ねる旅」を開催、順調に実績を積みました。3年目以降、京都府京丹波町での「黒大豆収穫・仕分け隊」など新しい援農企画に加え、大阪府能勢町での「お米づくりスクール」、兵庫豊岡市での「但馬・但東の山里暮らし」など食育交流・田舎暮らし企画を新たに開始し、事業拡大に努めました。そして、東日本大震災が発生、社会全体の仕組みが直され、

西日本地区の拠点づくり

人とのつながりの大切さが再認識されるなど、都市と農村をつなぐ本会の活動が重要度を増し、西日本の拠点としての事務所機能の位置づけが確立されました。今後、西日本事務所は、人のつながりをつくるような事業を展開してまいります。



鳥取での二十世紀梨に関する企画は現在も引き続き継続中

TOPICS /

2

今年度は、事務所開設10年目の新たな試みとして、鳥取県で「第一次産業観光利活用推進協議会」の体制整備を支援します。同協議会は、平成28年8月にJAGグループ鳥取を中心に設立され、県内農林漁業が持つ素材の特性を活かした観光資源を整備し、誘

経験を活かした取り組み

客活動につなげ、地域活性化を図っております。西日本事務所としては、平成29年度に実施した、県内の「先進地域の視察」や大阪の観光専門学校による「FAMツアー」をおこない、県内3地域の特徴を活かした誘客促進のための体験型プログラムの整備を支援し、受け入れ体制づくりに貢献致

しました。引き続き今年度も、FAMツアーを実施し、年間の体験メニューパンフレット作成など受け入れ整備を支援してまいります。8月には「観光素材の体験メニューづくりと商品化のため」をテーマとした研修を開催し、下期には、リスクマネジメント研修会への出講対応や、関西からの「ふるさと体験交流企画」を展開しながら、鳥取県での活動状況を、都市住民に発信していきます。これからも「小さな一歩が新たな一歩につながる」事業活動を西日本事務所は実践します。



FAMツアーに参加した学生から出た意見を反映し、質の高い観光資源をつくる取り組みを支援しています

全国農協観光協会機関紙

つなぐ

TSUNAGU 2018年10月発行 [VOL.019]

発行／一般社団法人 全国農協観光協会 発行人／清水清男 編集人／木本和男
〒100-0001 東京都千代田区外神田1-16-8 NタワービルF TEL:03-5297-0325 FAX:03-5297-0600

ANSWER

日本農業検定過去問題 解答と解説

1級

ANSWER

4

Q5

水田フル活用ビジョンは、都道府県や各地の地域農業再生協議会が作成した「水田フル活用ビジョン」を農林水産省が精査し、産地交付金を付与しています。飼料用米やムギ・ダイズなど、水田を活用して行える農業に対して交付金を付与し、食料自給率・自給力を高めようとする狙いがあります。

ANSWER

4

Q6

農耕が始まったのは約1万年前だといわれており、狩猟、採集に比べてはるかに多くの労働力を必要とする手間のかかる作業でした。日本は焼畑農耕が今も残り、タロイモの仲間のサトイモが栽培されていることから「根栽農耕文化」に属しています。

2級

ANSWER

3

Q3

煮干しから得られるだしには、イノシン酸と呼ばれる、うま味成分が含まれます。かつおだしからも同じくイノシン酸が、椎茸だしからはグアニル酸とグルタミン酸が、そして昆布だしからはグルタミン酸を得ることができます。だしは料理の味を深め、減塩にもつながるとされています。

ANSWER

2

Q4

天然自然の森林や草原などの生態系を自然生態系と呼ぶのに対し、農業を行うことで維持される生態系を農業生態系と呼びます。害虫などの自然生態系の中にある要素の排除による歪みを補正する必要があり、農業生態系の維持には人間の努力が必要であるとされます。

3級

ANSWER

1

Q1

植物の成長のために必要な窒素、リン酸、カリウムを「肥料の三要素」と呼びます。窒素は植物の葉や茎を大きくすることから葉肥とも呼ばれています。一方で窒素が多すぎると、徒長して軟弱になり、病害虫に弱くなります。リン酸は開花や実の結実に、カリウムは根や茎の発育などに影響を与えます。

ANSWER

3

Q2

JAS規格は日本農林規格と呼ばれ、農林水産大臣が品目を指定して定め、品位、成分、性能などが一定水準に達した飲食物品や林産物に表示されます。日本安全食品規格はJSF規格、日本健康食品規格に関してはJHFSという団体が適正製造規格認証を行っています。

COLUMN

トウモロコシ栽培のススメ

日本農業検定事務局(トウモロコシ栽培キットに関してはこちらへ)
TEL: 03-5297-0325 Email: zennoukan@i-znk.jp HP: http://nou-ken.jp/

中学校の生物育成授業の補助教材として開発したトウモロコシ栽培キットですが、失敗が少なく、室内で栽培できると好評です。アグリスクールの雨天対策、イベント参加時のプレゼントとして、または子ども食堂で子ども達と一緒に種を植えて観察し、収穫したものを調理して食べる



など、JAの食育活動の現場でも活用いただいています。また本会も、都内で親子を対象とした出前授業を行っています。

ただ種を植えて終わるのではなく、トウモロコシとはどんな野菜かという解説や、日ごろ食べている野菜の豆知識など子ども達に農や食に興味を持ってもらえるような仕掛けを用意しています。様々な場面で活用できるキットです。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

TEST

ここで試しに……

過去問題にチャレンジ!

日本農業検定は比較的簡単な3級から難易度の高い1級までをご用意しています。2・3級は6割、1級は7割正解すれば合格です! それぞれの級にあわせて専用のテキストを販売していますので、ご活用の際は、ぜひお問い合わせください。

(日本農業検定事務局:03-5297-0325)

1級

QUESTION

「水田フル活用」の説明として間違っているものは次のうちどれですか。

Q5

- 1 これまでの「水田減反・生産調整」の政策から「水田を有効活用する」政策へ、国の農政の方向が転換された。
- 2 戦略作物として、ムギ・ダイズなどの作付面積を拡大することになった。
- 3 戦略作物として、飼料用米・米粉用米の生産拡大に力を入れることになった。
- 4 戦略作物を生産する生産者に対して、転作奨励金を増額することになった。

QUESTION

農耕についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

Q6

- 1 農耕とは牧畜も含めた農業の別称である。
- 2 人類が農耕を始めたのは約2万年前(西アジアのムギ、東の中国・長江流域のイネ)だといわれている。
- 3 農耕が始まった当初は、狩猟・採集に比べて、はるかに手間のかからない作業だった。
- 4 日本の農耕は、焼畑やタロイモ(サトイモの仲間)の栽培が行われている東南アジアの「根栽農耕文化」に属するといわれている。

2級

QUESTION

だしの種類と主な成分の組み合わせで、正しいものは次のうちどれですか。

Q3

- 1 かつおだしー グルタミン酸
- 2 椎茸だしー イノシン酸
- 3 煮干しだしー イノシン酸
- 4 昆布だしー グアニル酸

QUESTION

農業生態系についての質問で間違っているものは次のうちどれですか。

Q4

- 1 農業が行われることによって維持される生態系を農業生態系という。
- 2 作物に害を与える害虫や病原菌などが人の手によって排除されるので、農業生態系の物質循環は途切れにくく安定している。
- 3 農業生態系では、有機物が収穫物として生態系から持ち出されるため、人が生態系の外から窒素、リン酸、カリウムなどの物質を肥料として補給している。

3級

QUESTION

肥料の3要素についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

Q1

- 1 窒素は葉や茎の生育に役立ち、多すぎると徒長して軟弱になる。
- 2 カリウムは開花や結実を良くし、新根の発育にも働いている。
- 3 リン酸は根や茎を強くし、不足すると病害虫への抵抗力が低下する。

QUESTION

JAS規格の説明で、正しいものは次のうちどれですか。

Q2

- 1 日本安全食品規格と呼ばれ、安全規格に適合していると判断された飲食品にJASマークが表示される。
- 2 日本健康食品規格と呼ばれ、規格に適合していると判断された飲食品にJASマークが表示される。
- 3 日本農林規格と呼ばれ、規格に適合していると判断された飲食品や林産品にJASマークが表示される。

VOICE

受検者の声は……?

信用部門にしか勤務しておらず、農業について勉強する機会がありませんでした。渉外担当としてお宅に訪問すると、花・野菜・病害駆除などの質問を受けることがあります。勉強に使ったテキストには日本の農業の姿や、身近な野菜の育成方法が書かれており、勉強になりました。家庭菜園をしている方と共通の話題ができてよかったです。



JA若手職員



人事教育担当者

近年は新入職員の8・9割が農家出身ではないこともあり、組合員と対話ができる職員を育てることが重要です。金融や共済を担当している方も、農業の話題など会話のきっかけになる知識を得て欲しいと思い受検を推奨しています。

テキストには植物の成長の基礎から、栽培の具体例が書かれており、美味しい農作物は農家の方々の努力によってできていると実感しました。環境や食に関する知識も習得でき、「農」に対する興味が湧きました。JA職員はもちろん、多くの方が受検することで、農業を知ってもらえる機会になるといいと思います。



JA中堅職員

平成25年度、3級試験を皮切りに始まった「日本農業検定」。平成29年度には、全体で3184名の方が受検し、過去5年間の受検者数は1万人を突破しました。

この検定は、食や農業の理解者・応援団を増やすことが目的です。2級・3級の、農業の基礎的な知識から、1級では農業の現場とつながって、より深い総合的な知識を段階的に習得できる内容になっています。

JAグループ内では、新入職員を含む職員研修に活用できるとお言葉をお願いしております。

平成29年度は、JAグループ内で21都府県66団

体、2447名の方に受検いただき、受検者数も増えています。

普段の業務のなかで、農業や食に関する基礎知識が求められるJAの若手職員の方などにとって、またとない機会です。ぜひとも日本農業検定の導入をご検討ください。

JAグループ内での受検が増えています!

日本農業検定は受検者の7割ほどがJAグループの職員の方です。JAの自己改革を実践するなかで、農業の現場と接する機会が少ない窓口業務などを行う職員の方も農業への理解を深められるほか、営農指導員ら専門

職員のスキルアップにつながるよう、受検を勧めるJAが多数あります。

平成29年度試験では、広島県が最も多い445人、次いで神奈川県からは444人のJA職員の方に受検いただきました。広島県では、渉外担当の職員の方にも農業の知識をつけていこうという方針のもと、平成27年度から職種を限定せず、広く

受検を呼びかけています。

また、JAによつては資格取得の1つに日本農業検定を定め、人事考課制度に反映したり、職員教育の一環として、入組内定者に受検させるなど、職員の資質向上に役立てる取り組みも見られます。

そのほかにも、新入職員研修と2・3年目職員の研修において3級テキストを教材として利用していただくなど、色々な場面で活用していただいております。



INFORMATION

『団体受検』・『公開会場受検』申込み受付期間

(団体受検) 5名以上 ※各級あわせて5名以上
試験日: 平成31年1月11日(金)~1月19日(土)
申込期間: 平成30年10月1日(月)~11月30日(金)

(個人受検 / 公開会場)

試験日: 平成31年1月12日(土)
申込期間: 平成30年10月1日(月)~11月30日(金)

(個人受検 / CBT会場)

試験日: 平成31年1月8日(火)~1月19日(土)
申込期間: 平成30年12月1日(土)~12月28日(金)

過去5年のJAグループ受検者数(人)

年度 \ 級	1級	2級	3級
H25(8)	—	—	266
H26(21)	—	337	449
H27(44)	—	951	1048
H28(53)	147	780	1051
H29(66)	162	780	1505

()内は申し込み団体数

日本農業検定申し込み受け付け開始します!